

や せしやうがっこう
八瀬小学校のみなさんへ

きやうは、べんきやう ほうしなしましやう。
今日は、勉強について話しましょう。

ふだんからみなさんには「勉強しましやう」とはよくいいますが、「勉強っていったい何なのか」についてお話しすることはなかなかないので、このお休みをきっかけにして、少しお話ししたいと思います。

はじめに、「勉強には2つの種類があります」これをお話します。

「勉強とは何か？」先生はこうお話しします。「勉強は、『大人になり、自分らしく生きる』ために必要な力をつけてくれるもの」だと。

『みんながやる勉強』の話

「それだったら、勉強なんかしなくても自分は自分らしく生きていますよ。」と思う人もいるかもしれませんが、それは違います。そう思った人は『大人になり』というところがぬけています。『大人になるということとはただ、20歳になるということではなく、自分の力で生きていけるようになる』ということです。それは仕事をしてお金を稼ぐことができるようになるということであり、自分のことはすべて自分でできるようになるということでもあります。むかし勉強という言葉のかわりに『読み・書き・そろばん』と言われましたが、文字や文章を読んだり書いたり、生活に必要な計算ができたりするということは、大人になるためにどうしても身につけなければならない力です。（もちろん、思いやりや協調性といった社会性も必要ですけど）

勉強とは『大人になって社会で生きていくための力をつけるために必要なもの』です。今は子どもでも、将来必ず社会に出ていくのですから、この勉強はすべての子どもたちに必要です。先生はこれを2種類ある勉強のうちの一つで『みんながやる勉強』と呼んでいます。「勉強って楽しいから好き！」と思えるのが一番ですが、この『みんながやる勉強』には好きとか嫌いとか、やりたいとかやりたくないとかは関係ありません。だから小学校1年生から中学校3年生までの9年間を義務教育として、学校で勉強することになっているのです。

学校での勉強の中心は、この『みんながやる勉強』です。「〇年生ではこれができるようになってほしい。」ということがきっちりと決まっています、担任の先生たちはそれを授業で教えます。ですから、『今、勉強しなくてはいけない内容』が、みなさんの『今、やってみたい勉強』と同じにならないこともあります。それはしかたのないことです。「やりたくないのにやらされる」とか「どうしてこんなことをしないといけないの？」という気持ちになるのもよくわかります。でも、2年生で九九をやるのは、それができるようになってお

かないと3年生でやるべき勉強ができないからです。また、別の例をあげると、4年生で日本の都道府県についておおまかに学習しますが、それをつかんでおかないと5年生で日本の国土の学習や全国にまたがる流通などについての学習が理解できないからです。みなさんは「なんで九九や都道府県おぼえなあかんねん？」と思うかもしれませんが、先生たちは「これおぼえとくと、3年や5年の勉強がわからんようになるねん。だから、がんばって！」という思いでテストしてるんですよ。

『こんなことおぼえて、何の役にたつねん？』の話

「先生。都道府県の場合や日本の気候区分覚えても、なんの役にも立たないんじゃないですか。」と、勉強にくじけかけた子がうったえてきます。『役に立たないことはやる必要がない』攻撃ですね。これを言葉で説明するのはなかなかむずかしいですが、こんな例はどうでしょう。

「2月の沖縄で雪まつりが行われました。」という情報を聞いたとします。沖縄県が本州から遠く離れた南にあって、2月であっても雪などほとんど降らない気候だと知っているAさんなら、「えっ、この情報間違ってる？」と思うかもしれないし「どうやって雪を運んだんだろう。」とか、「沖縄の子どもたちは、きっと大喜びだったんじゃないかな。」などの思いがどんどん出てくるのではないかと思います。一方、沖縄県が日本のどのあたりにあるのかや、どのような気候なのかを知らないBさんならどうでしょう。おそらく「沖縄県で、雪まつりがあったのか。どんな雪像があったのかな。」くらいの思いで、おそらくそれ以上の広がりはありません。AさんとBさんとのちがいは何でしょうか？それは人としての『豊かさ』です。「そんなこと覚えて何の役に立つの？」への答えは「一つ一つの知識だけを見ると、おそらくほとんどの知識はそれだけでは役に立たないでしょう。しかし、いくつかの知識が結びついたり、比べられたりすることで、そこに『その人の思い』が生まれます。そのような思いがどれだけ生み出されるかが、その人の豊かさにつながるのです。人としての豊かさは、その人にとってとても大切で価値のあるものです。何かを知る・覚えるということは、自分の役に立つ・立たないということではなく、人としての成長に対して役に立つものなのですよ。」ということになるのでしょうか。

『自分らしさを育てる勉強』の話

ようやく2種類あるといった勉強の2つ目のお話です。

…本当はここからの話が一番したいのですが、長くなるので今日はここまでにします。
続きは次回に…